

課題分析標準項目		状態	原因	(アセスメントで明らかにするもの)		生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)仮置き	ニーズ番号 (優先順位) 仮置き
10	健康状態	<p>病名) 脊椎管狭窄症再発 坐骨神経痛、変形性膝関節症、陳旧性脳梗塞、糖尿病、神経障害、高血圧症            通院 長谷川クリニック: 月1回通院。整形外科: 月1回通院            服薬 降圧剤、鎮痛剤、本人管理だが飲み忘れがある。長女が確認(土・日)            麻痺 左上下肢に軽いしびれ(閉き手は右)            身長155cm 体重42.0kg BMI17.48</p>	<p>⑩ 脊椎管狭窄症            変形性膝関節症            陳旧性脳梗塞            脚力低下</p>	利用者	<p>利用者            ⑩ 左手のしびれ            膝の痛み、立ち上がるのつらさ            手足のしびれ、痛み            ⑪ 痛み、立ち上がるのつらさ            ⑫ 時々、薬の飲み忘れがある            ⑬ 筋力低下が進み寝たきりに</p>	<p>利用者: 痛みを取って移動できないようにしたい。            家族: 痛みを取って欲しい。            意見: 薬の飲み忘れが無くするように、しびれや痛みのコントロールができるようになる。</p>	1
11	ADL	<p>食事: 自立。排泄: 移動に段差があるので一部介助(一度トイレ沼に合わなかったことがある)入浴: 浴室までに段差が多数あり。浴槽への出入りのまがき時に介助(長女が土・日に1回介助)。更衣: 7屈曲が不自由で靴下は介助。移譲: 不安定なために介助が必要。移動: 段差がなければつかまり歩行、見守り。整容: ほぼ自立。</p>	<p>⑪ 身体機能            下肢筋力低下</p>	利用者 家族 意見	<p>⑪ 動作がゆっくり、入浴は手動で足踏むため、補助の入浴が望ましいが出来ない。            ↓            このままの状態では今後、歩行能力の低下や転倒のリスクがある</p>	<p>利用者: 自分で入浴したい。            家族: 週に2回は入浴させたい。            意見: 安心して自分で入浴できるように、週に1回以上の入浴ができれば保清潔。</p>	1, 2 に関連
12	IADL	<p>調理: 数回したもの、ほとんど行っていない。買い物: 日総菜などは夫が買ってくる。掃除・洗濯・日曜日に長女が            金銭管理: 夫が行う</p>	<p>⑫ IADL 原因            ・味覚の変化(認知)            ・夫の言葉            ・立ち続けるのがつらい(変形性膝関節症)</p>	利用者 家族 意見	<p>利用者 ⑫            ・薬の飲み忘れがある            ・立ち調理ができない            ・味付けが不安            ⑬ 味付けに自信がなくなる            ⑭ 家事ができない(夫)            ⑮ 調理ができない状態が続き、栄養状態が偏る            →糖尿病の悪化、意欲低下</p>	<p>利用者: 夫のお菓子を作りたい。            家族: 夫のお菓子や料理を作りたい。            意見: できる範囲で調理に参加して、自信を回復し家族内の役割を見出せる。</p>	2
13	認知	<p>調理の味付けが以前のもので違う。同じものを繰り返しダンスに自分の持ち物を出し入れしたり、外出時に手提したり入れたりを繰り返す。</p>	<p>⑬ 加齢による認知機能の低下</p>	利用者 家族 意見	<p>⑬ 利用者: 同じ記事を何度も読んでしまう。            意見: 同じ事を繰り返している事があり、認知機能が悪化していく可能性がある。</p>	<p>⑬ ⑭ サービスを受けたい。外出が増え99comと南の事など認知機能低下の防止につけて欲しい。</p>	
14	コミュニケーション能力	<p>視力 聴力: 問題なし            痛みが激しいときは、話がかみ合わないことがある。</p>		利用者 家族 意見	<p>利用者: なし</p>	<p>⑭ 痛みが強くなる時は、内服でコトD-1112他剤との併用が有効(お薬手帳に記入)。</p>	
15	社会との関わり	<p>今年の4月より閉じこもった生活をしている。長男の工務店で夫が働いているが、長男の訪問は月に1回、共働きのため土日の見の訪問。ハイキング仲間がいる、町田さん。4月以降来ていない。4月以降来ていない。</p>	<p>⑮ 社会との関わり 原因            つたい歩き            立ち続けるのが難しいため外出ができないため閉じこもり。</p>	利用者 家族 意見	<p>⑮ 利用者: 閉じこもりに悩んでいる、今の体調で外出できない。            家族: 近隣のついでに散歩したい。            意見: 閉じこもりに悩んでいること、認知機能の低下につながる可能性がある。</p>	<p>⑮ 新たな仲間と散歩したい            ついでに外に出かけたい。            友人との交流の機会、家族間の交流が増えること、健康の向上につながる。</p>	1, 2 に関連

課題分析標準項目	状態	原因	(アセス)	生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)仮置き	ニーズ番号 (優先順位) 仮置き
16 排尿・排便	尿・便意はあるが、痛みのため思うように歩けず。トイレは寝室の横。排便は4日に1回		利用者 家族 意見	⑩ 利用者:安全にトイレに行ける様になりたい。 家族:トイレに行ける様になって欲しい。 意見:安全にトイレに行ける様になる事で、自信が付き、意欲の向上につながる。	11-関連
17 じよく瘡・皮膚の問題	特に問題なし		利用者 家族 意見	⑩ 痛みのコントロールをし、褥瘡の予防。清潔保持をする。	
18 口腔衛生	部分義歯 歯磨きは自分でやっている。口腔内に異常なし。		利用者 家族 意見	⑩ ニーズ ⑩ 自カでの口腔ケアを続けられるような援助 ・口腔ケアの指導等で今の状態を維持してもらいたい	
19 食事摂取	普通食摂取。医師より、低体重なので糖尿病食は摂取れや食事で栄養改善を図るように言われている。水分700ml。水分を勧めてもトイレに行きたくない		利用者 家族 意見	⑩ 利用者:食事をし(か)摂りたい。 意見:食事をし(か)摂れよとで糖尿病、高血圧の予防に効果	
20 問題行動	なし		利用者 家族 意見		
21 介護力	夫が介護をしているが、家事は全くしたことがなく、事はしているが健康というほどではない。(虚弱)長女は土日のみ。		利用者 家族 意見	⑩ おじいさんの介護を女に頼みたい できる限りのことしてほしい。 家族のしることは無理な範囲で続けたい。 専門性が必要な場合は専門職に頼むことで介護してほしい。	11-関連 関係係
22 住環境	持ち家、2階建て、自室は1階にあり、1階部分で生活。洗濯は行っていないため、2階には上がらない。段差		利用者 家族 意見	⑩ 利用者:安心して移動したい。 家族:安全に移動して、安心して生活したい。 意見:住環境を整い、安心して移動出来る様にしたい。住み慣れた家で生活が下がる。	11-関連
23 特別な状況	特になし		利用者 家族 意見		

⑩ 段差  
。階段の幅が狭い  
見分がりに重かけない

⑩ 利用者 昼、トイレで行くのが不安  
トイレ近くなるので水分  
あまり摂らないのは怖い。

⑩ 家族 (娘) 段差が危ない  
⑩ 意見 ⑩ 昼間、一人で移動し転倒。  
寝た時の危険性  
・水分制限を続ける  
⑩ ⑩ 脱水症状の再発の危険性がある  
(Dr) 脱水予防のため一定量の水分摂取が必要

⑩ 意見 ⑩ 痛みしつれが改善されないと  
寝た時に(は)じよく瘡の危険性

⑩ ⑩ 今は自立しているが、今後徐々に適切に  
行えなくなる可能性がある  
→口腔内トラブル、食事摂取への影響  
糖尿病の悪化にも関係するかも。

⑩ ⑩ 歯による食事摂取量の低下。  
水分を摂るとトイレが近くなる。  
利用者甘い物好き。

⑩ ⑩ 食べる量が減る  
水分はあまり摂らない(トイレが近くなる)  
糖尿病の食事はつけない(夫)  
お菓子が好きで糖尿病、高血圧

⑩ ⑩ 栄養状態が悪いので新たな  
病気の心配。水分不足による脱水  
糖尿病、高血圧の悪化。

⑩ ⑩ 長女は静岡に住んでいて会社勤め  
・夫は高齢・仕事している

⑩ ⑩ 利用者:入浴は娘に介助してもらいたい。  
家族:土日しか来らぬ(娘)  
家事は自分で済ませたい(夫)

⑩ ⑩ 段差が大きい

⑩ ⑩ (利) 段差があり、歩くのが怖い。  
⑩ (家) 段差が怖い

⑩ ⑩ (意) 家の構造上段差が多々。  
車転倒の危険性も高く、骨折も。  
外出への意欲も低下してしまう。  
費用が選べる可能性あり

